

平成30年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	保健福祉部生きがい推進局長寿介護課
------	-------------------


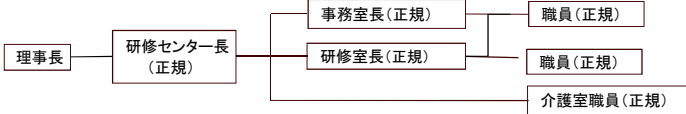
1. 施設名等 平成31年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県在宅介護研修センター (平成16年4月1日)	所在地 電話 HP	松山市末町甲9番地1 089-914-0721 http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakukaigo
----------------	------------------------------	-----------------	---

2. 指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5年間)
--------	------------------	------	--------------------------------

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	介護を必要とする高齢者を支えるため、その家族、ボランティアなど一般県民に対して、在宅介護に関する研修を行うとともに、介護に関する相談、情報の提供等を行う。	施設の外観 
施設内容	研修室、宿泊室、浴室等	
指定管理者が行う業務	①在宅介護の研修 ②介護に関する相談 ③介護に関する情報の提供 ④介護にかかわる関係団体等との連絡調整 ⑤センターの施設、附属設備等の維持管理 ⑥上記業務に付随する業務	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input type="checkbox"/> 採用している <input checked="" type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) -	
開館日・開館時間	開館日：年末年始(12/29~1/3)を除く日、開館時間：午前9時~午後5時	

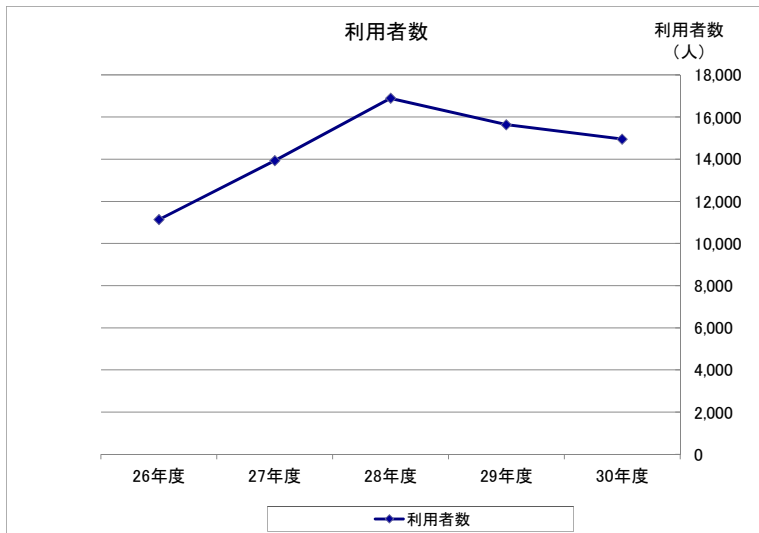
4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
県委託料(千円)	44,226	44,226	44,226	44,449	44,449	45,965

5. 施設の利用状況

(1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	対前年度増減率
利用者数(人)	11,133	13,938	16,886	15,639	14,948	△ 4.4%
利用料金収入(千円)	-	-	-	-	-	-%



(2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)	0.00%
(利用料金収入)	0.00%

6. サービスの質向上に向けた取組み

ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は平成30年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

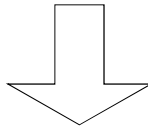
平成30年度の内容	平成31年度の内容(予定含む)
<ul style="list-style-type: none"> ○パンフレットの作成・配布及びホームページへの掲載 ○主催研修チラシ・月別研修一覧表等の作成・配布 ○研修内容の充実と受講者の満足度向上を図るため、受講者アンケートを実施。 ○研修用介護福祉用具の充実、介護関連図書・DVD等の貸出し ○研修センターへの来所が難しい方達にも受講機会を設けるため、県外講師による主催研修を県下各地で開催 ○介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化 ○熊本地震を受け企画した「災害時における高齢者の生活支援講座」であったが、30年度は南予で豪雨災害が起こり、地域に根差した介護ボランティアの必要性をより強く感じながらの研修となった。(平成28年度から継続) <平成30年度実績:主催研修1回・出前講座10回、受講者890名> ○少子高齢化の進展に伴い、介護離職が社会問題化するなど、「介護への備え」がますます必要となっていることから、県と協力して「介護力強化セミナー」(働く家族の介護力強化事業)を開催し、現役で働く世代にも積極的に介護への理解を深めていただく取り組みを推進。(平成28年度から継続) <平成30年度実績:講座開催21回、受講者875名) ☆ホームページの改訂を行い、研修申し込みに対するセキュリティ強化を行うとともに、スマートホン専用のページを新設し利便性を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主催研修で来ていただいた県外講師の研修は、できるだけ県内各地に出向いていただき、県下各地で多くの方が介護の研修を受講できる機会を設けるようにしているため、研修センターへの来所者が近年減少傾向となっている。そこで今年度は、昨年度各月7回だった主催研修を8回行うようにし、研修センター来所者数の増加を図りたい。 ・研修センターの来所者・受講者、出前講座の参加者のいずれも、男性3割・女性7割となっている。男性に、もっと介護講座の参加を呼び掛けるため「介護版男性専科」と題して研修を企画。講師も受講者も男性のみとし、気軽に参加できるよう呼び掛けていきたい。そして、地域の介護力を上げ、できるだけ在宅生活が続けられるように支え合えるネットワークづくりを推進したい。 ・在宅で介護を受けても、施設入所をして介護を受けても、同じように個人が尊重され、安心して歳を取ることができる社会づくりの実現を目指したい。 ・介護の普及啓発についてすそ野を広げるため、夏休みに親子(小・中学生とその保護者)で学ぶ介護講座を開催予定 ・研修受講者の要望に応じ、土曜、日曜日や夜間にも主催研修等を開催 ・「働く家族の介護力強化事業」(介護力強化セミナー等)への協力による現役で働く世代向けの介護の普及啓発の強化 ・社会福祉協議会及び地域包括支援センターと連携した研修事業の推進

イ) 利用者からの声への対応状況(平成30年度)

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>(利用者からの評価)※アンケートから抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このセンターは介護を学ぶ心のオアシスで、頼りがいがあり、ありがたい。 ・パンフレットを見て、いろいろな研修をしていることを知った。高齢化に伴い、ますます必要な施設になると思う。 ・実際に実技を体験することで、よく分かった。 ・地味な分野を地道に続けているセンターに敬意を表す。 ・介護をする側にもされる側にも優しい介護だと思った。 ・心を打たれた研修だった。 ・研修宿泊に父母を連れてきたい。 ・普段学ぶことが出来ない部分を学べた。 ・何回も実践しながら研修できているのは、センターのお陰だ。 ・日常の高齢者ケアなどで困ったとき、センターで指導いただけてありがたい。 ・高齢化社会に必須の体験や知識が習得できる施設だと思う。 <p>(苦情・要望)※アンケートから抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場のラインが見えにくい。 ・駐車場の出入口の傾斜がもう少し緩やかだと安全に入り出できる。 ・県や市の広報紙で紹介して見学会を開催してほしい。 ・館内の案内図があるとわかりやすい。 ・男性への指導をしていただきたい。 ・研修センターの存在を知らない人が多いので、周知を望む。 ・もっと広い会場で、もっと多くの方に聞いてもらいたい。 ・エアコンを均一に冷えるようにしていただけるとありがたい。 ・駐車場がセンターの反対側なので、道を渡るのが危険だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度末に駐車場整備に着手し、駐車場の出入口の傾斜をなだらかにするとともに、ラインを引き直す改善を図った。 ・要望のあった男性向け研修については、31年度の主催研修に「介護版男性専科①～③」を企画し、公民館等へ出前講座の呼び掛けを行っていく。 ・エアコンの冷風は、座る場所により極端に違いが出るため、「席に着く前に、参考にしてください」というプレートを作り、エアコンが良く効く席と、あまり冷風が来ない席が分かるように案内図を作成。これにより、同様の苦情が減っている。 ・駐車場とセンターの行き来は、センターを出て左方向(15m程度)にある、信号機のある横断歩道を利用することとし、センター側と駐車場側にその旨の看板を掲げる対策を講じた。

7. 平成30年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>何の備えも無く、いきなり介護を始めるほど心許ないものはない。在宅介護研修センターは、一般の人たちに、少しでも早く介護に関する備えをしてもらおうと、平成16年に開設された。「介護を自分のこととして学びましょう」をコンセプトとして、自分の老いや介護の問題、ターミナルケアやエンディングノートなど、これからの備えとなるような研修項目を多く行っている。コンセプトにある「自分」の中には、すでに介護を生業としている人たちも含まれる。今の介護現場に、自分の親を、そして自分を託すことができるだろうか？自分の行っている介護はどうだろうか？と、改めて見直すきっかけになってもらいたいという思いを込めている。在宅介護が少しでもより良いものになるために、研修内容の充実を図るとともに、出前講座等を通じて地域における介護のネットワークづくりに寄与したい。指定管理者としての過去15年間の実績を踏まえ、より高度で親しみのある愛媛県在宅介護研修センターの運営を行っていきたいと思っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県下各地において、地域と連携した多彩な講座を積極的に展開し、過去3番目に多い受講者数(14,948人)を記録しており、平成30年度の取組みも高く評価できる。また、熊本地震を受け企画した「災害時における高齢者への生活支援講座」や、センター長による「すぐに役立つ介護講座」シリーズ、現役世代を対象とした「働く家族の介護力強化セミナー」等、地域のニーズに応じた新たな企画は、着実に受講者数の増と満足度の向上に繋がっている。講座を受講した方が、「地元でも講座を開催してほしい」「所属団体の講演に来てほしい」「我が社で講座を開催してほしい」等と、次の出前講座の依頼や見学研修等の来所に繋がるケースが増加しており、センターの研修が受講者に高く評価されていることの表れであると考えられる。 ・利用者のニーズの把握に努め、迅速かつ極細やかな対応がなされている。 ・受講者アンケートでも好意的意見が多く寄せられ、利用者の満足度は高い。 ・様々な工夫により経費節減に努めるとともに、施設・設備については適時・適切なメンテナンスがなされており、安定した運営管理が行われている。 ・今後も老朽化に伴う施設・設備等の修繕について、優先度を見極め計画的な予算執行に努めていただきたい。



8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

<p>指定管理者は、多彩な研修を積極的に展開し、在宅介護研修センターの利用促進と、利用者の満足度の向上に努めており、高く評価できる。また、利用者の要望に的確に対応するとともに、円滑かつ安定した運営がなされており、施設・設備も適切なメンテナンスにより良好に保たれている。介護の研修の場と実践の場が一体となった研修施設は、他県には例をみないものであり、先進的取組みとして民生児童委員など県外からの視察が相次いでいることから、全国に誇れる施設として一層の発展を目指していただきたい。</p> <p>今後さらに進展する高齢化を見据えた時、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者一人ひとりの尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で助け合い支え合う社会づくりを進める必要があり、在宅介護研修センターの存在価値はますます高くなっている。今後も引き続き、広く一般県民を対象として、生きた介護を学ぶことのできる実践的研修を展開し、本県の介護の質の向上と、地域の介護力強化に努めていただきたい。</p>
--